

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 15日

事業所名 エールなごみ1・2

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1		・日によっては人間関係や特性などスペースの振り分けが難しいことがある。	1人当たり2・47㎡の基準は満たしているが、今後機の配置や部屋割りなどを検討していく。
	2	職員の配置数は適切である	11	1		・児童二人に対して指導員1人の余裕ある配置数を心掛けている。	児童10人に対して指導員2人という人員配置基準を満たしたうえで、ゆとりのある配置を心掛けている。このまま継続していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	2		・車いすでは室内の移動や車への乗降などが難しい。	室内段差のない設計にはなっているが、車いすの移動などは難しい。マットの配置、福祉車両の購入など検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		3		日々打ち合わせ・会議を行いグループチャットなどで周知しているが、書面では会議に参加していない非常勤の職員には伝わりにくい。定期的に非常勤の職員も会議に参加できるよう検討していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		2	・アンケートを実施。集計して支援に生かしている。	保護者アンケートを定期的の実施して、それをもとに改善努力をしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		2		保護者様には書面で配布するとともにホームページ上でアップしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10		2	・保護者様に定期的に評価アンケートをいただいている。	保護者様のアンケートを外部評価と位置付けているが、今後は評価機関の受審も検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		2	・研修計画の基づき行っている。それ以外にもオンライン研修など身になりそうなものがあれば随時行っている。	研修計画を見直し職員が多岐にわたる研修が受けられるよう配慮していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10		2	・半年に一度は面談を行い、社内で検討会を開き幅広く意見を取り入れられるようにしている。 ・保護者様との面談の時間を設け、情報を共有しながら計画を作成している。 ・支援計画をもとに月間評価を行っている。	年2回のアンケート・面談を含め、こまめに保護者様と情報共有し、計画作成時も職員全員で検討会を実施している。今後も継続していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		2		エール独自のアセスメントシートを活用しているが、より使いやすくなるよう改良も検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12			・プログラム内容は事前に打ち合わせをし、通信で保護者様へ周知している。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12			・広い視野を持って各自が情報収集を行い意見を出し合っている。 調理・プール活動・工作など、幅広く行っている。	人気のあるプログラムだけに偏らないよう、常にチームで研究を重ねているが、安全面には最大限配慮する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12			・個別の課題に加え、集団での目標・活動目当てなどを設定している。 ・課題シートを使用し、素保日の課題を確認しながら取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		1	・毎日必ず打ち合わせを行い、打ち合わせに出られない非常勤の方にも内容をオンラインで送付している。 ・朝の打ち合わせ時にて送迎の確認。その日の動きなどを確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	2	・その日あったことは口頭で伝え、時間が取れないときはオンラインや翌日の会議で共有している。 ・その日のうちに打ち合わせはしていないが、共有すべきことや相談はしている。	打ち合わせ内容を書面にて非常勤の職員にも伝えているが、伝えきれていないこともあるので、今後書面内容(書き方)の改善を図っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		2	日報で記録し、HUGで保護者様へ報告している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10		2	・半年に一度は必ず面談を行っている。それ以外にも要望や必要性があれば随時面談を行い判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10		2		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		1	・児発管に加え、児童の担当者が参加できるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12			・下校予定表の利用。わからないときは電話確認。今後放デイの利用日を書面にして学校に渡すことも検討。 ・学校より時間割をいただき情報を共有している、	現在は保護者様を介して学校とのやり取りをすることが多い。今後放デイの利用表をに学校に渡すことも検討する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10		2	・現在医療的ケアの必要な利用者様はおられないが、リハビリのやり方などは支援会議を開いて教えていただいている。 ・病院で実施していたリハビリ内容など、連携を取りながら取り入れている。 ・現在該当しない	現在医療的ケアが必要な児童はいないが、リハビリ情報などは共有している。 今後ケアが必要な児童が利用する場合は事前に保護者様・医療機関と連携していく。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	1	2	・保護者様を通して事前に書面などで情報をいただくことが多い。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10		2		今までは求められた場合お伝えすることはあったが、今後は書面にて各事業所にお伝えしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	5	1	公園や他施設利用の際は指導員が仲立ちとなりながら交流を図れるよう配慮している。	公園や図書館などで交流がある場合もあるが機会は少ない。安全面を考慮しつつ今後機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	5	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		2	・送迎時に保護者様と必ずその日の情報は共有するようにしている。サービス提供記録でもお伝えするが、急を要する場合は電話でお伝えする場合もある。 ・HUGを使用しその日の様子を報告している。面談やアンケートで要望や意見を聞いている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4	3	面談を通して保護者様の悩みや不安などを聞きながら助言等を行っている。	相談があった場合は支援を行い、必要なら他機関を紹介したりするが、ペアレントトレーニングとしては取り組めていない。 今後職員も研修を受け全体の技術を底上げして対応できるようにしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		1	・説明はしているが、福祉サービス利用の観点で理解してもらえていないような現状もある。 ・契約時に説明をし同意をいただいている。	契約時に重要事項説明書などでお伝えしているが、わかりにくい場合もあるので、重要なところはわかりやすく書面にして配布していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		2		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6	3		本年度は説明会1度しか開催されていない。来年度から学年に合わせた交流会などを企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10		2		
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		1	・活動風景がわかるよう写真を貼り付けて通信を発行したり、インスタグラムを活用して発信している。 ・毎月通信を発行し、活動報告や行事予定を発信している。		

保護者への説明責任等	35	個人情報に十分注意している	11		1		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	6	2		自転車やクリスマスツリーなどの寄付をいただいているが、交流を図る行事などはできていない。現在利用者様と畑作業に取り組んでおり、花畑の開放や、野菜の無料配布(またはバザー)などを企画検討中である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	3	2	・現在改善作業中 ・作成見直し中	現在すべてのマニュアルを見直し中で、完成次第ホームページに公開する。同時に書面でも配布予定である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		1	・防災計画にのっとり毎年2回訓練を行う。その他にも「防災週間」を設けている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		2	・虐待に関する研修を実施	毎年定期的に研修を行っており、参加できなかった職員にも資料を配り周知している。オンライン研修などの機会も増やしていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10		2		現在該当がなく、今後も基本的には拘束以外の方法を考えていく。万が一必要な場合は手順にのっとり職員全員で深く検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	1		契約時に必ず確認しているが、より綿密な調書を取るよう書面制作中。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12				・毎日打ち合わせ時にかなわずヒヤリハットはなかったか確認をし共有している。書面にまとめ出席していない職員にも共有している。 ・朝の打ち合わせ時に前日のヒヤリハットを共有しあい、用紙に記録している。	